



1人1台 タブレット端末を整備！ アイシーティー 深谷のICT教育 スピリットイン 『渋沢 spirit in ふかや GIGAスクール』

社会のあらゆる場面において日常的にICT（情報通信技術）が活用され、技術革新がますます加速するこれからの時代を生き抜くために、子どもたちの資質・能力を育成する『新しい教育』が求められています。市では、子どもたちのICT環境整備として、『渋沢 spirit in ふかや GIGAスクール』構想に基づき、公立小・中学校で児童生徒に1人1台タブレット端末の配備と高速大容量の通信ネットワーク整備を進めてきました。今月号では、タブレット端末の配備によってICTを活用した令和の学びが今後どのように変わっていくのかを特集します。



タブレット端末などICT環境を活用した教育

公立小・中学校の児童生徒に、1人1台タブレット端末が配備され、学校の普通教室や特別教室に大型提示装置や、高速大容量のネットワーク環境などが整備されました。これにより、授業中に調べたいことをすぐに調べたり、学習活動を写真や動画で撮影・記録したりするなど、子どもたちの興味・関心を生かして自主的・自発的な学びを深めることができるようになりました。

そのほかにも、大型提示装置を利用し、タブレット端末から画面を反映して各自の意見や考えを全体で共有したり、オンライン（テレビ会議システム等の活用）で教室と社会がつながったりなど協働的な学びでも活用されています。

ICT活用で広がる今後の可能性

従来の授業にICT（情報通信技術）を取り入れて活用することにより、子どもたちの学習理解を深めるだけでなく、子どもたち一人ひとりの習熟度にあった学習支援（個別最適な学び）の実現や、校務の効率化に伴い教員が子どもと向き合う時間の創出につながることもできます。

また、今後は、家庭との連携のもとで家庭学習におけるタブレット端末の活用に取り組んでいき、学校の臨時休校や緊急時などにおいても、タブレット端末を使用し学校と家庭がつながり、デジタル教材や学習支援コンテンツの提供など子どもたちに必要な学びを止めない教育体制を整備していきます。

深谷市で育みたい『7つの力』

深谷教育の『立志』と『忠恕』の精神を根底に据えて、深谷市では、子どもたちに育むべき『7つの力』をもとにICT教育を推進します。

立志	忠恕
①基礎的な力 ドリル学習などで身に付ける基礎的な力。調べ学習で身に付ける基本的な情報を活用する力。	⑥思いやる力 情報モラル教育などにより、インターネットの向こうにいる見えない相手を思いやる力。
②思考・判断・表現する力 適切な資料を選択し、調べたことをもとにまとめ、相手に伝える力。	⑦認め合う力 多様な交流活動や学級活動で、折り合い、練り合い、合意形成する力。
③自らを高める力 地域や関係機関とつながることで、多様な価値観にふれ、自らの考えを深める力。	
④協調・協働する力 テレビ会議システムなどを活用し、ゲストティーチャーや関係諸機関などの人材を用いた遠隔授業などで社会とつながる力。	
⑤コミュニケーション力 各授業でICT機器を使いながら個人の意見を共有し、学び合うことで知識や技能を高める学習を行う力。	

深谷市では、志を立てることや人への思いやりなど、郷土の偉人『渋沢栄一翁』が大切にしてきた、『立志の精神』と『忠恕の心』を受け継ぐ教育を推進しています。そこで、国が推進するGIGAスクール構想（※参照）と深谷市ので、子どもたちの実態を踏まえ、深谷の教育の肝となる『立志』と『忠恕』の精神を基に子どもたちに育むべき『7つの力』を定め『渋沢 spirit in ふかや GIGAスクール』構想としてICT教育を推進していきます。

※GIGAスクール構想とは：義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習用端末と高速大容量の通信ネットワークを整備する計画。

1人1台配備で実現！ ICT活用で変わる学びのポイント

- ▶ タブレット端末のカメラアプリで教科書に記載されているQRコードを読み込み、関連資料（動画・音声・問題など）を参照できます。
- ▶ コンピューター室まで行かなくても、授業中に児童生徒が調べたいことをすぐに調べられます。
- ▶ 各自で写真や動画などを撮影・記録し、学習活動を繰り返し確認したり、画像を拡大して観察などに活用したりできます。
- ▶ 教師が作成したワークシートを各児童生徒のタブレット端末に配信し、子どもたちの記述内容をリアルタイムに確認できます。また、タブレット端末から大型提示装置に画面を反映し、各自の考えを共有したり、発表活動などにも活用できます。



児童たちに聞きました！ 『タブレット端末を使ってみてどうですか？』



よした 吉田さん（岡部西小学校）

いろいろな授業でタブレット端末を使うので、使い方も慣れてきました。写真を撮ったり、文字を入力したりして自分で発表用の資料を作るのが楽しいです。

授業で先生が撮った写真なども、これまでの黒板への掲示だけでなく一人ひとりのタブレット端末に送られてくるので、画像や文字などの資料がしっかりと見えて分かりやすくなりました。



かがみ 鏡さん（岡部西小学校）

新型コロナウイルスワクチン

接種のお知らせ

国により、新型コロナウイルスワクチンが予防接種法の臨時予防接種（特定の疾病に対して臨時的に行われる予防接種。接種費用は公費負担）に位置付けられました。現在、市では新型コロナウイルスワクチン接種の実施に向けて準備を進めています。

新型コロナウイルスワクチンとは

新型コロナウイルスワクチンは、主に新型コロナウイルス感染症の発症や重症化の予防を目的としています。

【接種費用】 無料

【接種回数】 約3週間の間隔で2回接種

この予防接種は強制ではありません。接種を受けるかたの同意がある場合に限り、接種が行われます。

※現在、病気で治療中のかたや、体調など接種に不安があるかたは、かかりつけ医とご相談のうえ、ご検討ください。

ワクチン接種には優先順位があります

新型コロナウイルスワクチンの接種は、国が示す優先順位に沿って実施します。

2月下旬から医療従事者への接種が開始され、優先接種者から順に接種を開始し、その後、一般の

かたに接種が行われる予定です。

【国が示す優先順位】

- ① 新型コロナウイルス感染症患者等に頻繁に接する医療従事者など
- ② 高齢者（65歳以上のかた）
- ③ 基礎疾患があるかたや高齢者施設などの職員
- ④ ①～③以外のかた

新型コロナウイルスワクチン接種の手続き

新型コロナウイルスワクチンは次の流れで接種手続きを行います。

① 接種券が届く

『接種券』は3月下旬から、まずは65歳以上の高齢者（昭和32年4月1日以前に生まれたかた）へ発送します。

その後、国が示す優先順位に沿って、順次発送します（ただし、国のスケジュールにより変更する場合があります）。

※接種券は、原則令和3年1月1日時点において深谷市に住民票のあるかたに発送します。



② 接種の予約をする

接種を受けるには、事前の予約が必要です。

※接種券に同封するお知らせで、予約方法、接種会場などの詳細をご確認ください。

※接種する医療機関への直接予約ではありません

せん。

③ 接種会場に必要書類を持参し、接種を受ける

予防接種を受ける際は、接種券・予診票（予約後に郵送します）と本人確認書類（運転免許証や健康保険証など）を必ず持参してください。

【注意ください】

このお知らせは、令和3年2月時点での国の情報に基づくものです。今後変更が生じた場合は、改めて広報やホームページ、メール配信サービスなどでお知らせします。



市コールセンターを開設します！

ワクチン接種に向けて、相談および問い合わせ先のコールセンターを開設します。

深谷市新型コロナウイルスワクチン接種専用コールセンター

☎ 0570 - 003065

※通話料は発信者負担です。

受付時間 午前8時30分～午後5時15分（土・日曜日・祝日も実施）
※7月1日以降は、月曜日～金曜日（祝日除く）午前8時30分～午後5時15分



ワクチン接種の予約について

3月下旬よりワクチン接種予約受付を開始予定です。

- 上記コールセンター
- 専用ウェブサイト
- 予約相談窓口（市役所本庁舎1階）

※詳しくは、お手元に届く個別通知でご確認ください。

新型コロナウイルスワクチンの情報

新型コロナウイルスワクチンについて、詳しくはこちらでご確認ください。

厚生労働省や首相官邸のホームページ



◀厚生労働省ホームページ『新型コロナウイルスワクチンについて』



◀首相官邸ホームページ『新型コロナウイルス感染症 ワクチンについて皆さまに知っていただきたいこと』

厚生労働省電話相談窓口

厚生労働省新型コロナウイルスワクチンコールセンター
相談電話番号 ☎0120 - 761770（フリーダイヤル）
受付時間 午前9時～午後9時（土・日曜日・祝日も実施）

深谷市ホームページ

新型コロナウイルスワクチン接種の情報について、随時発信しています。